



2021年1月29日

各 位

会 社 名 SMN株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 石井 隆一
 (コード番号: 6185 東証第一部)
 問 合 せ 先 取締役執行役員 中川 典宜
 (TEL. 03-5435-7930)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2020年7月30日に公表しました2021年3月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 14,000	百万円 800	百万円 800	百万円 500	円 銭 38.64
今回修正予想 (B)	11,700	200	180	20	1.54
増減額 (B-A)	△2,300	△600	△620	△480	
増減率 (%)	△16.4%	△75.0%	△77.5%	△96.0%	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	11,607	747	735	483	37.73

2. 修正の理由

当社グループは引き続き成長が見込まれる国内インターネット広告市場において、既存サービスであるアドテクノロジー、マーケティングソリューションへの継続的な投資を実施し、更にデジタルソリューションへの領域にも積極的に投資し、成長を目指しております。

2021年3月期は経営方針として、「アドテクノロジー新領域への展開」、「アプリDSP立ち上げ」、「ソリューション型ビジネスの拡大」を掲げております。2020年7月30日に公表しました連結業績予想については、新型コロナウイルスの影響が緊急事態宣言解除後、当面一定の影響は残るものの徐々に収束し、経済活動が正常化されることを想定しておりました。

上期は新型コロナウイルスの影響もあり、旅行、人材、店舗誘導型広告や新規営業成約数が減少しましたが概ね計画通りに推移いたしました。下期に入り、新規営業成約数は回復傾向にありますが、遅れを取り戻せていない状況です。また、当初想定していた、「アドテクノロジー新領域への展開」でのコネクテッドテレビ向け広告のサービス提供開始遅れや屋外デジタル広告(DOOH)で苦戦しております。また、「アプリDSP立ち上げ」も想定通り進捗しておりません。直近では、iOS14のリリース(ITP強化)による影響も受けております。

業績は、2021年3月期第2四半期を底として回復傾向にあります。緊急事態宣言再発令に対応し、コロナ禍でも好調な業種(EC等)への営業を強化し成長を目指しておりますが、アドテクノロジーの売上が集中する1～3月に関して、例年の成長に届かず、通期連結売上高は2,300百万円の減少を見込んでおります。費用は概ね計画通りとなっておりますが、売上高の減少の影響で営業利益が600百万円、経常利益が620百万円、親会社株主に帰属する当期純利益が430百万円減少する見込みとなりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益は、上記の理由に加え、今後の業績動向を勘案し繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、繰延税金資産を50百万円取り崩すことになったため、法人税等が予想を上回る見込みとなりました。



以上の結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも前回発表予想を下回る数値となる見込みであるため、業績予想を修正するものであります。

(注) 上記の予想は、当社が発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上